

2019年4月1日

みなとみらい二十一熱供給株式会社

代表取締役社長 内田 茂

本年3月31日をもちまして、供給開始30年を迎えました

弊社は、21世紀の都心にふさわしい先進的な都市システムとして、みなとみらい21中央地区に採用された地域冷暖房事業を担うべく創立され、「横浜博覧会」(YES'89)を機に1989(平成元)年4月1日より冷暖房・給湯などに利用する冷水・蒸気の供給を開始し、2019(平成31)年3月31日をもちまして、供給開始30年を迎えることができました。

横浜博覧会終了後、1件だったお客さま件数は、30年の年月を経て50件を数えるまでとなり、この間、幸いにも大きなトラブルに見舞われることもなく、連続供給/無停止操業を継続することができました。これもひとえに、これまでご愛顧賜りましたお客さま、関係者の皆様のご支援とご協力の賜物と深く感謝をしています。

低炭素社会や都市強靱化を含めSDGs(持続可能な開発目標)への貢献など、今後、弊社に求められる役割はますます大きくなっていると自負しています。先進技術を取り入れた高効率熱源機器の導入や効率運転などによる更なる省エネルギーの追及、日々の安定供給の堅持はもちろんのことですが、非常時にも業務継続可能なインフラの構築が求められています。

弊社としましては、先進的なエネルギー企業として、柔軟な発想でお客さまのニーズに応え地域の発展に尽力していく所存です。

今後とも、これまでと変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以 上